

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則

- (1) この大会は、2024年度日本陸上競技連盟の競技規則、および本大会申し合わせ事項による。
- (2) **不正スタートについては、1回不正スタートを行った競技者は失格となる。**

2. 競技場の使用

- (1) 競技開始から終了までの間、審判員、競技者、生徒役員以外は競技場内に入ることを禁止する（その競技の審判長の権限により競技者を失格にすることがある）。
- (2) 1階ホールは審判受付、来賓受付、表彰控室のため競技者は入らないこと。
- (3) 本競技場でのウォーミングアップは禁止する。補助競技場砲丸投ピットはあらかじめ決められた時間以外は使用しない（6/29は10:30~12:30、6/30は8:30~10:00）。
- (4) 雨天走路（本競技場・補助競技場とも）は控え場所ではないので場所とりは禁止する。
- (5) 本競技場雨天走路は、招集完了後の練習以外では使用しない。
- (6) 補助競技場雨天走路は、練習以外では使用しない。また練習時には掲示してある雨天練習場使用上の注意に従うこと。
- (7) 棒高跳の練習については、6/29の12:30より補助競技場雨天走路で行ってもよい。ただし、雨天時には本部の指示に従うこと。
- (8) 本競技場内でテントを張る場合は中段の通路より上とする。
- (9) 各郡市は競技終了後、指定の場所を掃除すること。また、**ゴミは各自が必ず持ち帰ること。**

3. 招集

- (1) **招集場所はすべて本競技場雨天走路とする。**
- (2) 招集開始時間はトラック種目が競技開始30分前、完了は20分前とする。フィールド種目は競技開始50分前、完了は40分前（棒高跳は開始70分前、完了は60分前）とする。競技者は**招集完了時刻の10分前までには招集所（棒高跳は現地）に集合し**、点呼及び、アスリートビブスとスパイク及びシューズの確認を受けること。ただし競技中の場合には代理人でもよい。
- (3) **スタートリストはプログラム記載の競技開始時刻の90分前~60分まで掲示する。棄権する場合は招集開始時刻までにそのスタートリストの選手名に×印を付けること**（あらかじめ訂正届出用紙において報告した選手についても同様の手続きを行うこと）。**スタートリストは、本競技場雨天走路スタート側に掲示する。**
- (4) 最終点呼を受けた後は競技役員誘導指示に従って競技場所に移動する。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (6) 競技が遅れた場合でも、プログラムの記載時間通りに招集を完了すること（時間厳守）。守れなかったときは規則により失格とする。

4. 競技運営

- (1) 各校（団体）の監督は6/29は9:30、6/30は8:00までにプログラムの訂正の届出用紙（プログラム巻末綴込み）を本部まで提出すること（できる限り、プログラムの訂正は6/29に完了すること）。
- (2) リレーのオーダー用紙（プログラム巻末綴込み）は、予選・決勝とも招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出する。やむをえず棄権する場合には招集開始時刻までにそのスタートリストのチーム名に×印を付けること。
- (3) トラック競技、フィールド競技が同時に行われる（同一競技者が兼ねている）場合、トラック競技を優先する。ただし、その間のフィールド競技の試技は全てパスとなるので、競技者は代理人を立て、現地審判員に申し出ること、試技数を確保できるように対応すること。
- (4) 共通男女走幅跳はC・Dピット、1.2年男女走幅跳はC・Dピットを使用する。砲丸投は本競技場のピットを使用する。
- (5) リレーのマーカーについては、1カ所のみとする。また、マーカーは競技者係でも用意する。ただし、使用したマーカーはそのチームで処理すること。
- (6) 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられた走路（曲走路）を走る。リレー競技においては、バトンを渡し終えた競技者は、他競技者への妨害を避けるため、走路が空くまで自分のレーンまたはゾーンにとどまること。
- (7) スパイクはオールウェザー用とし、トラック9mm以下、走高跳12mm以下を使用すること。なお、シューズについてはWA規則を適用する。（投擲シューズは20mm以内）
- (8) **フィニッシュ後はスパイクをぬぎ、中央通路またはダッグアウトを通り、自分の荷物を持ち帰る。**
- (9) 各競技の判定については、審判の判定を絶対とする（判定に不服があるときは、県中体連陸上競技部専門委員長より審判長に申し込む）。
- (10) 生徒役員は、原則として29日は10:00、30日は8:20までに本競技場雨天走路に集合すること。
- (11) 開会式は、各郡市の旗手、宣誓者及び章典返還に参加する競技者が参加する。
- (12) 閉会式は、表彰を受ける競技者が参加する。

5. 競技方法

- (1) 得点については、各種目毎に1位8点、2位7点、3位6点……8位1点とする。ただし、男女3000m競歩は得点の対象としない。
- (2) 100m,200m,400m,800m,1500m,100mハードル,110mハードル,4×100mリレーは予選を行い、決勝は8名又は8チーム(男女1500mは16名)で行う。ただし、同記録者があり、写真判定でも決められないときは抽選(同記録者あり、9名又は9チームの場合、決勝は抽選せずそのまま行う)とするが男女1500mは抽選せずそのまま行う。
- (3) 競技者の走路順及び試技順はプログラムに記載された左上→下という順で行う。
- (4) **3000m(共通男)はグループスタートで行う。**
- (5) 走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする(但し、当日のグランドコンディションにより変更する時もある)。また、1位決定のためのバーの上げ方は、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
 男子 145(練習) 150 ~ (5cmずつ) ~ 170 173 ……以後3cmずつ
 女子 125(練習) 130 135 140 145 148 ……以後3cmずつ
- (6) 棒高跳のバーの上げ方は1m80練習、2m00から20cmずつ、3m00からは10cmずつとする。
 上記以外の特別の場合のバーの上げ方は審判長が決める。
- (7) 走幅跳・砲丸投の計測記録は設定しない。

6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは全競技者胸部と背部(跳躍競技に参加する選手は胸部または背部の一方でも可)に横24cm、縦16cm程度の白布で男女とも黒字で明確に記入、四隅密着(2点通し止め)のこと(アスリートビブスを着用しないものは出場を認めない)。
- (2) トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバーカードをつけること。ただし、腰ナンバーカードはプログラム記載のレーンナンバーをつける(リレーのアンカー含む)。
- (3) 腰ナンバーカードについては各郡市、各校、各団体に準備すること。
- (4) 3000m(共通男)、3000m競歩(共通男女)は胸・背部に別アスリートビブスを使用する。出場者は競技開始1時間前までに主催者が準備する別アスリートビブスを本競技場雨天走路スタート側の競技者係まで受け取りに来ること。その際、自分の正規アスリートビブスを提示した上で受け取り、招集時につけてくること(腰ナンバーカードについては各校(団体)で準備すること)。また、アスリートビブスの回収はゴール付近でビブス回収の生徒役員が対応する。

7. 表彰

- (1) 団体対抗(男子の部、女子の部)は、それぞれ6位までとする。
- (2) 個人(リレーを含む)は、それぞれ8位までとする。
- (3) リレーは3位までエントリー競技者6名にも個人賞状を授与する。

8. その他

- (1) 入賞者は成績のアナウンス後、ただちに正面玄関ロビーの入賞者控え席に集合し表彰を行う。なお、他種目に出場しこれられない場合には、代理者を出してもよい。代理者が出せない場合は他種目終了後に賞状をとりこくること。
- (2) 本大会(県中学陸上)において、各種目(3000m競歩は除く)上位3名、リレーの上位3チームは北信越中学校陸上競技大会の出場権を得る(ただし、1・2年男女100m、共通及び1・2年男女走幅跳、男1年1500mについては、本大会において出場権を決定しない。また、本大会の共通男女100mで1・2年生が上位3名に入賞しても北信越大会の3年100mに出場することはできない)。
- (3) 北信越大会への出場は、各種目1校(団体)2名以内とする。出場権決定種目において同順位になった場合には順位決定戦をおこなう。
- (4) 以下の種目の出場権は、県通信陸上において決定する。
 男子・・・1年100m、1年1500m、2年100m、共通走幅跳、共通四種競技
 女子・・・1年100m、2年100m、共通走幅跳、共通四種競技

第51回全日本中学校陸上競技選手権大会 一標準記録一

◎ 男子

種目	電 動
100m	11秒20
200m	22秒75
400m	51秒60
800m	2分00秒50
1500m	4分08秒50
3000m	8分57秒00
110mハードル	15秒00
走高跳	1m85
棒高跳	4m00
走幅跳	6m55
砲丸投	13m00(5.0kg)
四種競技	2500点

◎ 女子

種目	電 動
100m	12秒53
200m	25秒80
800m	2分16秒50
1500m	4分38秒00
100mハードル	14秒80
走高跳	1m60
走幅跳	5m45
砲丸投	12m50
四種競技	2630点

四種競技

【男子】110mハードル、砲丸投(4.0kg)、走高跳、400m
 【女子】100mハードル、走高跳、砲丸投(2.721kg)、200m

1. 県中学陸上・県通信陸上・県中学混成において上記の記録に到達した者は参加の資格を得る。
2. 県通信陸上において、男女4×100mリレーの各1位校は参加の資格を得る。
3. 全日本中学校陸上競技選手権大会の出場は「1人1種目」とする。